

# IncuCyte S3 ライブセル解析システム 技術セミナー

## 1. 完全Walk-Awayシステム

\* インキュベータ内にサンプルをセットするだけ。

## 2. 自動撮影 + 自動定量解析

\* 画像取得終了時に、定量解析結果も同時表示

## 3. ハイスループット

\* 異なった細胞アッセイを6種類まで同時測定可能

## 4. 長時間解析が可能

\* インキュベータ内なので数週間の観察・解析が可能



これまでのライブセルイメージングの概念を変えた  
全く新しいライブセル解析システムです。

日時

2019年11月19日(火)

17時30分～18時45分 (質疑応答15分含む)

会場: 基礎医学研究棟1階 会議室

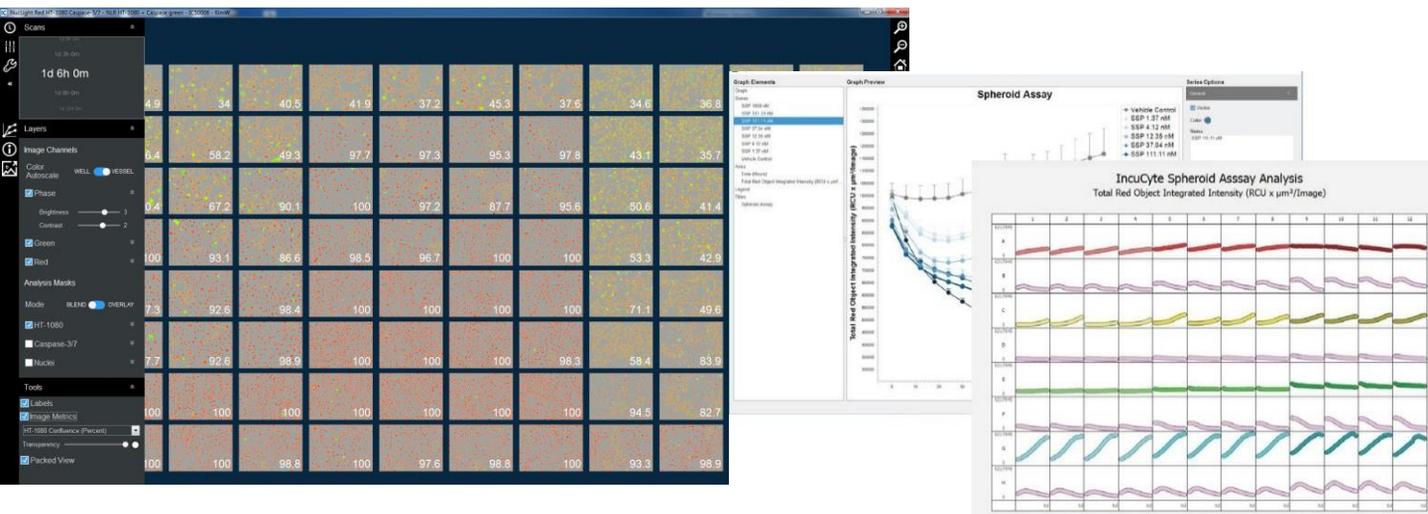
セミナー内容 (60分程度)

- 機器の概要説明
- アプリケーション例 (裏面参照)

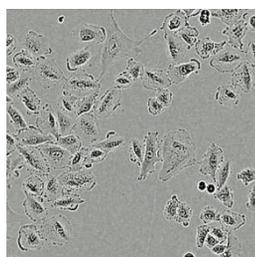
※テクニカルセミナー後、ご希望により実機デモのお打合せをいたします。

○学内問い合わせ先: 医学部教育研究機器センター システム管理部門  
e-mail: kiki-system@sapmed.ac.jp (内25240)

# イメージ取得から定量解析まで全自動

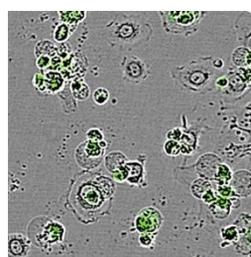


## アプリケーション例



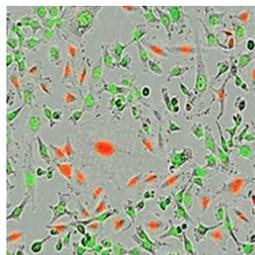
### 細胞のQC

細胞の増殖をラベルフリーでモニターし、アッセイ前に各ウェルの細胞が同一状態を確認できます。細胞アッセイのバラつきを軽減します。



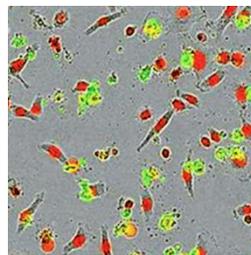
### アポトーシス

培地にアポトーシス検出試薬を添加する簡単なプロトコルでアポトーシスをリアルタイム解析



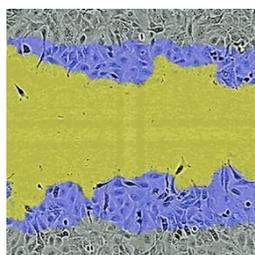
### 細胞増殖

NuLight蛍光タンパク質発現試薬を使い、共培養下でも緑・赤でそれぞれの細胞の増殖率をリアルタイム解析



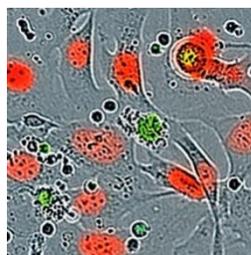
### 細胞毒性

培地に添加するだけのシンプルなプロトコルで細胞の生存・死をリアルタイム解析



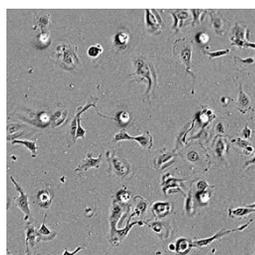
### スクラッチアッセイ

専用のスクラッチメーカー使用で、96 wellでの細胞遊走解析を実現。多種の薬剤・濃度で同時比較が可能です。



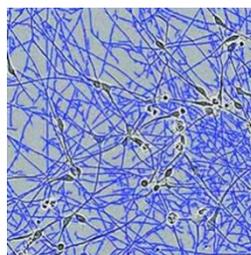
### T-Cell Killingアッセイ

NuLight蛍光タンパク質でがん細胞を標識し、アポトーシス検出試薬と合わせて使用することで、免疫細胞によるがん細胞への傷害を定量解析、可視化できます。



### ケモタキシス

Clear View 96 wellプレートを用いてケモアトラクトンに細胞の遊走度を定量解析



### 神経突起伸長解析

ノンラベルで神経突起の伸長度と細胞体の個数をリアルタイム定量解析。インキュベータ内のため、2週間~3週間のリアルタイム解析も可能です。

本セミナーに関するお問合せ： エッセンバイオサイエンス株式会社

営業担当： 宇都宮 徹 080-2331-9094 email: toru.Utsunomiya@Sartorius.com